

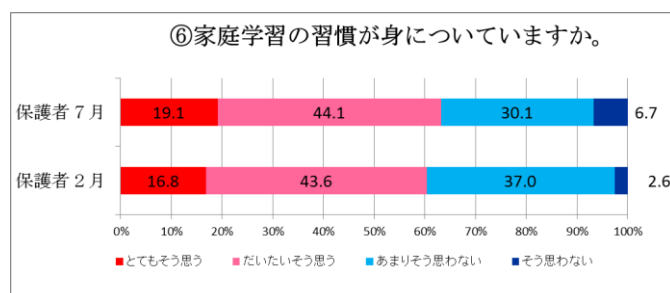
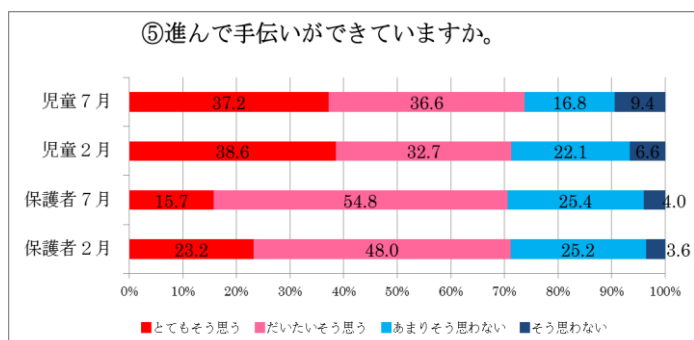
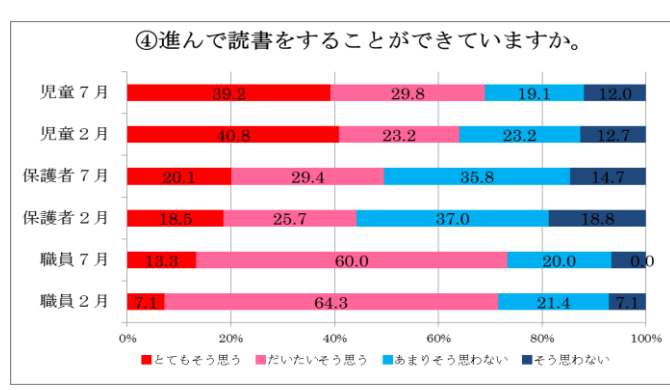
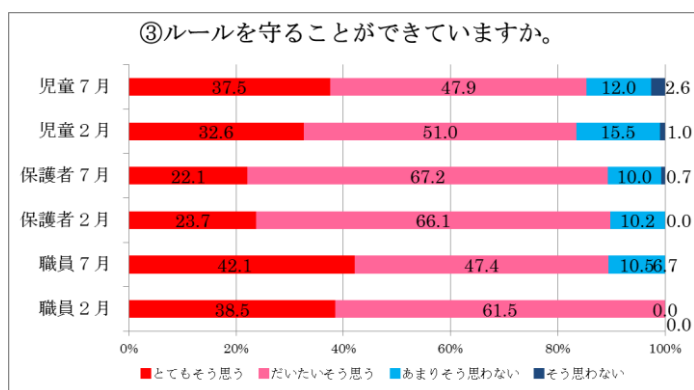
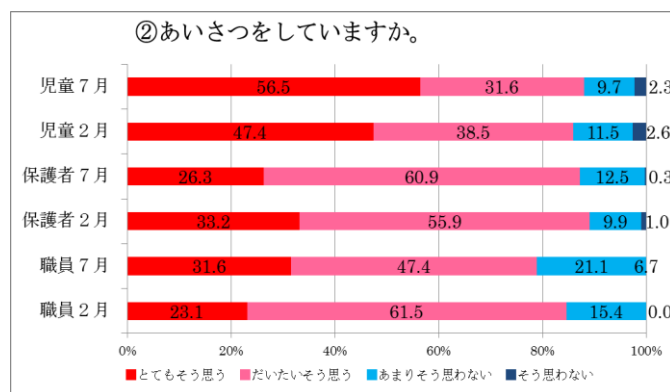
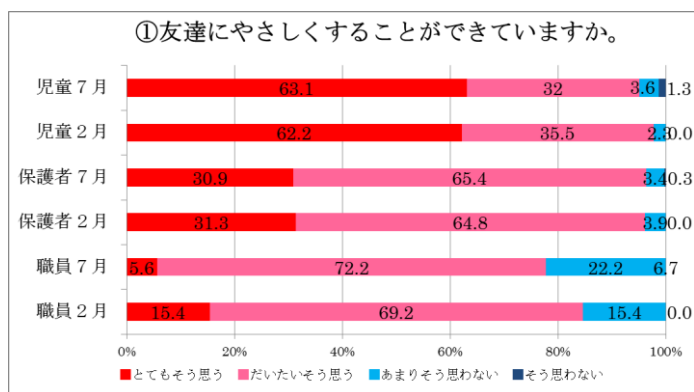
学校アンケートの結果について

保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のことと拝察いたします。さて、この度は、学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。本紙にて、その結果をお知らせいたします。

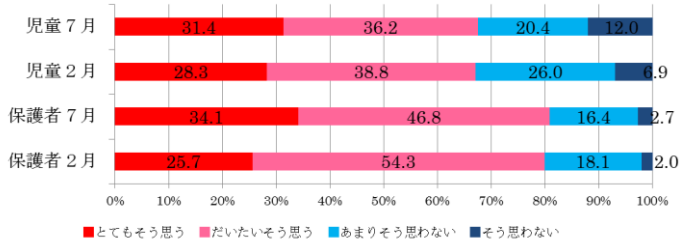
本校では、この結果を生かしながら、今年度も教育活動を行っていくよう努力してまいります。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

アンケート結果の見方について

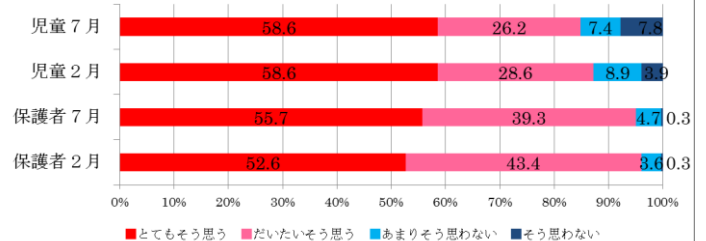
子ども、保護者、職員それぞれに共通した項目のアンケートを実施しました。そこで、項目ごとに比較等ができるようグラフで表しています。問いは、各キーワードに関して、子どもは自分自身ができているか、保護者はご自身のお子さんができていると思うか、職員は、子どもの様子を表しています。



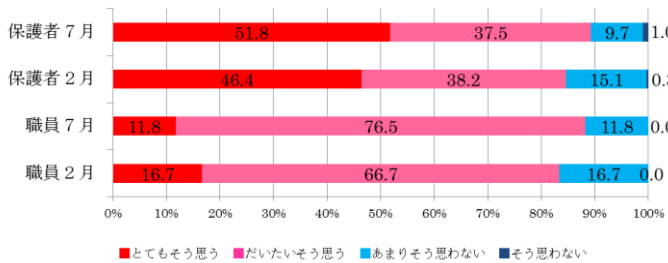
⑦早寝・早起き・朝ごはんができていますか。



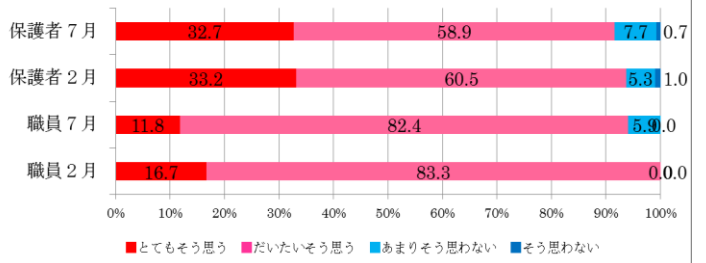
⑧学校にくるのが楽しいですか。



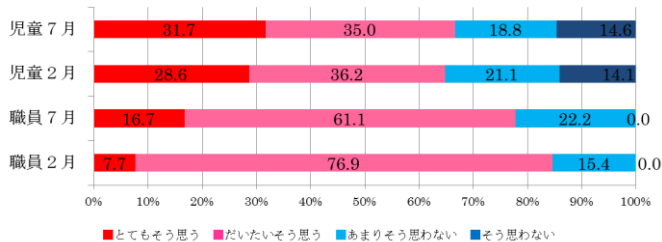
⑨進んで体力作りをしていますか。



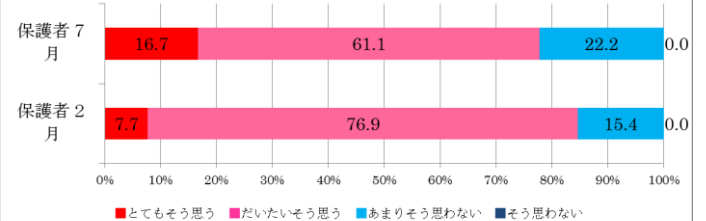
⑩家庭と学校との連絡ができていますか。



⑪先生と会話・相談ができていますか。



⑫進んで学習に取り組んでいますか。



アンケート結果から

- 「あいさつをしていますか」については、児童は、ポイントがやや下がっていますが、職員は、大きく上がっています。交通指導の方々が生をかけてくださることや、あいさつの大切さを共通理解職員の方から積極的にあいさつを行っていることの効果が表れていると考えられます。地域の方からは、「あいさつをする子が増えてきた」や、「あいさつをこちらがしても返ってこない」という両方の意見があるため、日頃からあいさつの大切さを児童に伝えていかななくてはいけないと感じています。
- 「ルールを守ることができているか」については、児童は、ポイントがやや下がっていますが、職員は大きく上がっています。今年度、チャイム席や廊下歩行等を課題として全校集会を行い、学校全体で取り組んできたことが結果となっているようです。
- 「進んで読書」については、1学期同様、読書が好きなお子が多いものの、相変わらず二極化が見られます。学校では読書ボランティア「おはなしの会」、図書ボランティアの方々に協力していただいたり、朝のチャレンジタイムに読書の時間を設けたりするなど、読書に親しめる環境づくりを行っています。来年度は、「読書嫌いな子」をどうやって読書に興味を持たせるかの手立てを考えていく必要があります。
- 「進んで手伝い」は、1学期同様、十分でないと感じている保護者が多いです。学校でも毎日の掃除や道徳の授業、学校生活の中で勤労の大切さや勤労によって人の役に立つ喜びを体験させてきました。これからも継続していかななくてはなりません。
- 「家庭学習の習慣」が十分でないと感じている保護者の方が1学期同様、多い。全国で学力向上への取組が叫ばれている中、家庭での学習は不可欠です。学校からも毎日の宿題や自学ノートの取組を家庭にお願いしているが、さらなる啓発に努めていく必要があります。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」については、他の項目に比べ低い評価となっています。保護者側としては、できていると感じても児童は、できていないと感じる傾向が見られます。早寝ができないことから早起きや、朝ご飯を食べることができないという悪循環になっていることが考えられます。ゲームをする時間を決めたり、ノーテレビの日を作ったりと生活習慣についてご家庭でも話し合う必要があるようです。
- 「楽しく登校」できているかどうかは、子どもにとって一番大切なことだと考えます。しかし時には悩みや問題を抱えて楽しく登校できないと感じる日もあります。それが長期化しないよう、教職員は早期にそんな子どもに気づき、しっかりと向き合っていかななくてはならないと考えています。
- 「教師は子供の相談にのっているか」については、子どものアンケート結果は高い評価を得ることができませんでした。この結果を真摯に受け止め、教師側からまずは朝の声かけをしていくなど積極的な対応を心掛けていきます。